

平成 2 5 年度藤沢市下水道事業費特別会計資本剰余金の処分について

平成 2 5 年度藤沢市下水道事業費特別会計において、補助金、負担金その他これらに類する金銭（以下「補助金等」という。）をもって取得した資産（取得に要した価額からその取得のために充てた補助金等の金額に相当する金額を控除した金額を帳簿原価又は帳簿価額とみなして減価償却を行うもののうち、減価償却を行わなかった部分に相当する部分）の除却等により発生する損失について、補助金等を源泉とする資本剰余金 4 0 0,0 0 0 千円を上限としてうめるものとする。

2 0 1 4 年（平成 2 6 年）2 月 1 7 日提出

藤沢市長

鈴 木 恒 夫

提案理由

資産の除却等により発生する損失を補てんするため資本剰余金を処分したいので、地方公営企業法第 3 2 条第 3 項の規定により提出する。

参 考

地方公営企業法 抜粋

（剰余金の処分等）

第 3 2 条

- 3 毎事業年度生じた資本剰余金の処分は、条例の定めるところにより、又は議会の議決を経て、行わなければならない。

平成 2 5 年度藤沢市下水道事業費特別会計資本剰余金の処分に係る資産

(単位 千円)

資 産 名	取得価額	財 源
		補助金等 (資本剰余金処分数額)
機械及び装置等	1,000,000	400,000

※資産の内訳は, 空気予熱器, 加湿機等

※資本剰余金処分の上限は, 400,000千円とする

※金額については, 除却等が完了していないため見込み額としている